



久御山町 水道事業ビジョン(第2次)

— Kumiyaama Town Waterworks Vision 2nd —

安全・安心な水を未来につなぐ みんなで支えるくみやま水道

令和6年度～令和15年度

はじめに

本町の水道事業は、昭和43年4月に上水道の給水を開始して以来、高度経済成長期の急激な人口増加や生活水準の向上、経済発展などに伴う水需要の増加に対応しながら、住民生活と社会経済活動を支えてまいりました。

この間、平成28年3月に「久御山町水道事業ビジョン」、平成31年3月に「久御山町水道事業経営戦略」を策定し、水道施設の更新・耐震化を推進するとともに、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に努めてきたところです。



しかしながら、近年の水道事業を取り巻く環境は、人口減少や節水機器の普及、大口需要者の地下水利用などにより水需要が減少し、料金収入の減少傾向が続く一方で、老朽化した水道施設の更新・耐震化に多額の投資が必要となるなど、厳しい状況に直面しております。

現在、社会情勢が大きく変化する中で、前回ビジョンは策定後8年が経過し、また、経営戦略については、総務省から検証や評価を踏まえながら3～5年ごとに改定することが求められていることから、このたび、両計画の見直しを併せて実施し、本町水道事業の進むべき方向性と施策を示す新たな計画として「久御山町水道事業ビジョン（第2次）」を策定いたしました。

本ビジョンでは、「安全・安心で安定的な久御山町の水道を、水道事業者と使用者が一丸となって未来につないでいく」という思いを込めて、『安全・安心な水を未来につなぐ みんなで支えるくみやま水道』を新たな基本理念とし、これを推進するため、「安全な水をいつも送る水道」、「強靱で安定した水道」、「いつまでも健全に持続できる水道」の3つの基本目標を掲げました。

令和6年1月1日に発生した能登半島地震によって、改めて水道の安定供給の重要性への認識が高まっていることから、今後は、本ビジョンに基づき、水道施設の更新・耐震化を推進しながら、より一層の経営効率化と経営基盤の強化を図り、将来にわたって持続可能な水道事業を運営してまいりたいと考えておりますので、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本ビジョンの策定にあたり、多大なるご尽力をいただきました久御山町上下水道事業経営審議会の委員の皆様をはじめ、パブリックコメント等を通じて貴重なご意見をいただきました多くの皆様に心からの感謝を申し上げます。

令和6年3月
久御山町長 信貴 康孝

目次

第1章	水道事業ビジョンの策定にあたって	1
1	策定趣旨と位置づけ	1
2	計画期間	2
第2章	水道事業の概要	3
1	久御山町の概要	3
2	久御山町水道事業の沿革	4
3	水道施設の概要	5
4	京都府営水道の概要	15
5	水道料金の概要	17
第3章	これまでの主な取組	18
1	水道事業ビジョンの取組状況	18
2	経営戦略の取組状況	20
第4章	現状と課題	22
1	水道の普及状況	22
2	有収水量の状況	24
3	水道施設の状況	26
4	経営の状況	29
5	総括	50
第5章	将来の事業環境	51
1	将来人口の見通し	51
2	水需要予測	52
3	料金収入の見通し	61
4	更新需要の推移	62
5	京都府・近隣市町との連携	65

第6章	これからの水道事業	66
1	基本理念	66
2	基本目標	66
第7章	具体的施策	69
1	安全な水をいつも送る水道	69
2	強靱で安定した水道	71
3	いつまでも健全に持続できる水道	75
第8章	投資・財政計画（収支計画）	83
1	投資・財政計画（収支計画）策定にあたっての説明	83
2	投資・財政計画（収支計画）	90
3	投資・財政計画（収支計画）に未反映の取組や 今後検討予定の取組の概要	92
第9章	ビジョンの実現に向けて	94
1	ビジョンの実現に向けたPDCAサイクルの実施方法	94
2	進捗管理（モニタリング）の具体的な方法	94
3	見直し（ローリング）の具体的な方法	95
	資料編	
資料1	用語集	1
資料2	久御山町上下水道事業経営審議会	6

